

オールセラミック修復のための 新しい形成コンセプトと接着テクニック

セラミック修復に必要な基本的理論と実践的テクニック

2017.7.6 木 13:00 ▶ 16:00

場所 安保ホール 601号室(名古屋駅 徒歩3分)

定員 50名 参加費 5,000円(税込)



近年CAD/CAMの普及により身近になったオールセラミック修復ですが、未だ臨床の現場では、修復物の不適合、術後不快症状、そして破折など、各種トラブルで困惑する声を多く聞きます。

これらトラブルを回避するためには適切なガイドラインに基づく支台形成とレジンセメントによる確実な接着操作を習得する必要があります。従来の金属修復で求められた形成の要件と、セラミック修復に求められる要件は大きく異なり、特にCAD/CAMによる修復物製作には独自のポイントが存在します。また、得られたセラミック修復物を口腔内で適切に長期に渡り機能させるためには、接着補強効果を獲得する必要があります。近年注目を集める高強度ジルコニア修復においても従来の合着操作に起因するマイクロリーケージと、継発する不快症状や二次う蝕を回避するために、適切なレジンセメントの使用と最新の接着システムの理解が要求されます。

本セミナーではセラミック修復に必要な基本的理論、CAD/CAM機器の特性に基づく最新のプレパレーションガイドライン、そして最新のレジンセメントによる確実な接着を獲得するための基本的知識を、講師が大学において実践してきた臨床実績と研究成果に基づいて解説致します。

CONTENTS

- 1 患者さんに説明すべき自費歯冠色修復の利点**
保険治療との対比、材料学的特性の理解、患者さんにご理解いただくためのコンサルテーションテクニック
- 2 CAD/CAM オールセラミック修復の概要**
最新のCAD/CAMシステムの概要、修復物の精度を向上させるための光学的特性の理解、歯冠色材料の特性
- 3 オールセラミック修復のための最新プレパレーションガイドライン**
研究成果に基づく最新の形成要件、適切な形成を行うためのパー選択
- 4 レジンセメントによる接着の基本的背景**
接着材料の特性とは？被着面の理解と汚染対策
- 5 レジンセメントの選択基準 - 接着に必要な器械と材料**
接着するセメントとは？光照射器の選択と注意点
- 6 効率的なレジンセメントの除去テクニック**
残渣を残さないための器材選択とその使用法
- 7 術後不快症状への対応、術後管理**
不快症状で困ったら、術後に注視すべきポイントと対応

講師：風間 龍之輔 先生



講師略歴

東京医科歯科大学 非常勤講師
日本歯科保存学会専門医
日本歯科審美学会認定医、評議員
日本歯科CAD/CAM学会評議員
日本接着歯学会評議員



お問い合わせ

ササキ株式会社 岡崎支店 担当:左高(サダカ)、原田(ハラダ)
愛知県岡崎市井田新町5-8
TEL:0564-22-1015 FAX:0564-22-4626

お申し込み

申込書に必要事項をご記入の上、お申し込み専用FAXまでお申し込みください。
参加費のご入金確認をもって、お申し込み確定とさせていただきます。

お振り込み先

愛知銀行 岡崎支店 普通2014201 ササキ株式会社岡崎支店
ご入金いただいた参加費の返金はいたしかねますので、ご了承下さい。
お振り込み手数料はご負担願います。お振り込みの控えをもって、領収書にかえさせていただきます。



安保ホール 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-15-9
TEL:052-561-9831

主催：カボデンタルシステムズジャパン株式会社 | 協賛：ササキ株式会社

風間 龍之輔 先生 セミナー 参加申込書

お申し込み FAX : 0564-22-4626

お名前	歯科医院名	<input type="checkbox"/> 院長 <input type="checkbox"/> 勤務医
住所 〒	TEL FAX	ササキ株式会社 担当
E-mail	@	